事業所名		児童ルームスマイル(放課後等デイサービス)			支援プログラム(参考様式)			作成日	7 年	3 月	1 日	
法人(事業所)理念		「子どもたちが楽しめること」をモットーに 障がいのある子もない子どもたちも 保護者も職員も みんなが笑顔でいられる 居場所づくりを目指します										
支援方針		得意な事は伸ばし、苦手な事は少し頑張れるように個別の療育を行いスキルを上げ、お子様や保護者の方の笑顔が少しでも増やせるように取り組みます。										
営業時間			14 時	0 ら	17 時	0 分ま で	送迎実施の有無	あり なし				
							支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握・健康の増進・それぞれの子どもに適した身体的、社会的訓練・基本的生活スキルの獲得・構造化による生活環境の整備										
	運動·感覚	・姿勢と運動、動作の向上・保有する感覚の活用・感覚の補助及び代行手段の活用・感覚の特性への対応・微細運動、粗大運動の向上										
	認知•行動	・感覚や認知の活用・知覚から行動への認知過程の発達・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成・数量、大小、色形等の習得・認知の偏りへの対応・宿題の支援										
	言語コミュニケーション	・言語の形成と活用・受容言語と表出言語の支援・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・コミュニケーション手段の活用(絵や文字等)・指差し、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上の為の支援										
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成・模倣行動の支援・感覚遊びから象徴あそびへの支援・一人遊びから協同遊びへの支援・自己の理解とコントロールの為の支援・小集団への参加への支援										
家族支援		必要に応じて相談	炎支援を実施	する・個人面談			移行支援	移行支援会議への参加・個人面談				
地域支援·地域連携		小学校、他事業所との連携を図る					職員の質の向上	月に一度の研修(外部講師)・各種外部研修への参加				
主な行事等		・参観日・保護者会・修了式・長期休みの外出支援等										

児童ルームスマイル(放課後等デイサービス) 5領域の具体的支援プログラム

健康・生活

身辺自立の確立。身だしなみを整える、食事や睡眠等を整えるなど、日常の生活習慣を見直し、規則正しい生活習慣が身に付く事が出来るように、ご家庭と連携を取りながら、少しずつ支援していきます。

認知・行動

学校から出た宿題は、最後まで終える事が出来るように促していきます。

また、分からない事があれば、適切に聞く事が出来るように声掛けを致します。

課題を通して、見る力、考える力を養います。

スケジュールを確認し、活動出来る事や、交渉をすることなど、適切な関わり方を伝えていきます。

運動・感覚

微細運動 → 課題を通して訓練をしていきます。

粗大運動 → 公園や神社等に行って小集団での関わり方を学んだり、交通ルールの理解を促したりします。

人間関係・社会性

ソーシャルスキルを学んだり、アンガーマネジメントを学ぶことで、人との関わり方を学んでいきます。

机上の、学びだけではなく、実際の場面で般化が出来るように伝えていきます。

遊びを通して、ルールを理解し守る事や、一緒に遊ぶ楽しさを伝えていきます。

言語・コミュニケーション

分からない事を聞く事や、相手に自分の要求を伝える等、正しく言葉にして伝える事が出来るように支援していきます。 1対1を通して、まずは職員と適切にコミュニケーションを取ることが出来るように伝えていきます。

家庭支援

- ・適宜相談支援を行います。
- ・個別支援計画時には、モニタリングを含めた現状の確認を行います。会議等の出席、参加をすることで、共通理解を深めていきます。
- ・年に1回参観日を行うことで事業所で行っている療育を見て頂きお子様がどのように過ごしているのかどのような課題を行っているのかを詳しくご説明致します。
- ・個人面談、保護者会も行っています。

地域支援・地域連携

長期休みの時は、外出支援を通して、公共の場での振舞 い方や、声の大きさ、順番を守る事などを伝えていきま す。

小学校や他の事業所、相談支援等、連携を取っていきながら、本児にとってより良い支援を考えていきます。

移行支援

他の事業所に移行したり、中学校に移行するなど、移行 に向けた支援を行ったり、連携を取っていきながら、ス ムーズに移行出来るように取り組んでいきます。

職員の質の向上

- ・月に1回の内部研修(外部講師を招いて)
- 各種、外部研修
- オンライン研修
- スキルアップのための研修…等